



仙台防災未来 フォーラム2018

— 命を守り、地域に根ざす 企業防災の取り組み —

企業の防災・安全対策の取り組みは、従業員の命を守り、事業を継続するために重要なだけでなく、従業員の家族、地域の防災力の向上にもつながります。地域企業における震災から得た経験と教訓、企業内での防災・安全対策等の取り組み、防災CSR活動に関する事例発表等を通じて、企業と地域における実践的な防災・減災活動について考えます。

入場無料
 >>> 日 時 **2018.3.9 (金)**
 >>> 開催時間 午後**2時** >>> 午後**4時20分**
■開場/午後1時30分
 >>> 会 場 エル・パーク仙台 6階ギャラリーホール
 >>> 主 催 仙台市
 >>> 共催 (公財) 仙台市産業振興事業団 >>> 後援 (株) 河北新報社・仙台商工会議所



企業



防災

セミナー

命を守り、地域に根ざす 企業防災の取り組み

>>> 第1部 防災・減災活動等の事例発表

防災・安全対策等に取り組んでいる地域企業の事例を紹介します。

日鐵住金建材(株) 今野梱包(株) (株)サイコー

>>> 第2部 パネルディスカッション

■パネリスト

- 日鐵住金建材(株) 執行役員 生産技術センター 生産技術部長……平山 憲司氏
- 今野梱包(株) 代表取締役社長……今野 英樹氏
- (株)サイコー 代表取締役……齋藤 孝志氏

■コーディネーター

- (株)河北新報社 防災・教育室長……武田 真一氏

定 員

先着 **200人** ※申し込みが定員に達しない場合は当日の入場も可

申込方法

「仙台防災未来フォーラム2018」HP内の申し込みフォーム、または「お名前、ご所属、電話番号、メールアドレス」を記入いただきFAXで申し込みください。
(裏面FAX様式をご利用ください)

スマホからも簡単に申し込みできます。



◆応募締切 / 3月2日(金)

ブース展示 地域企業の防災の取り組み

同会場内で、企業による防災・減災に関する活動や防災製品に関する展示等を行います。

>>> フォーラムの詳細はHPでご確認ください。

>>> <http://sendai-resilience.jp/mirai-forum2018/>

仙台防災未来フォーラム2018

検索



仙台防災未来フォーラム 2018 セミナー参加申込FAX用紙

仙台防災未来フォーラム 2018

— 命を守り、地域に根ざす 企業防災の取り組み —

- 日 時:2018年3月9日(金)
- 開催時間:2時~4時20分(開場/午後1時30分)
- 会 場:エル・パーク仙台 6階ギャラリーホール

■アクセスマップ



**地下鉄南北線「勾当台公園駅」
南1出口より地下道で直結**

※会場へは公共交通機関をご利用ください。

■セミナー登壇者略歴

●パネリスト



日鐵住金建材(株) 執行役員 生産技術センター 生産技術部長/平山 憲司氏

1983年日鐵建材工業(現:日鐵住金建材)入社。各地の製造所勤務の後、2010年7月に仙台製造所長として初の東北勤務をスタートする。赴任から8ヵ月後に東日本大震災の津波直撃を受けたが、引継いだ「避難マニュアル」を継いだ「避難訓練」のお陰で、当日構内で働いていた従業員・協力会社全員の命を守ることができた。震災から1年かけて製造所の完全復旧を成し遂げ、以降も段階的に設備増強・新ライン建設を行い磐石な製造所にした後、2015年6月に野木製造所長(栃木県)、2017年6月から現職となる。震災を経験したにも拘らず、その記憶は日毎に薄れていくことを日々感じており、震災の経験談の共有を通じ、防災・減災に関して何かの役に立てればとの思いを持ちながら、日頃のものづくりの仕事に励んでいる。



今野梱包(株) 代表取締役社長/今野 英樹氏

宮城県立石巻高等学校を卒業後、大学に行くことに疑問を抱き仙台市の経営専門学校へ。卒業後仙台市内の自動車ディーラーに就職。尊敬していた祖父の他界を機に地元に戻り、1994年に祖父の興した自社に入社。2010年2月に代表就任。「探さないものは見つからない。求めなければ掴めない。」を信念にいつも何かを探求し、商品を購入してもまず見るのはその商品ではなく梱包・包装資材とその仕様という一種の職業病も健在。東日本大震災後は主に仙台市と石巻市の被災した小中学校や避難所に強化ダンボール製のパーティションやロッカーなどの教育環境資材を供給。2015年12月に「ダンボールギニー」を世に出す。好きな言葉は祖父より受け継いだ「この道より我を生かず道なし この道歩く」。



(株)サイコー 代表取締役/齋藤 孝志氏

1996年(株)サイコー入社。2012年に代表取締役就任。東日本大震災時は産業廃棄物の中間処理施設である仙台港資源化センターが約5メートルの津波による壊滅的被害を受けたが、社員や全国の同業者からの支援を得て、震災から5ヶ月後という奇跡的なスピードで早期復旧を果たした。また、震災当時に(公社)仙青年会議所2011年度理事長を務めており、自社のトラックに緊急車輛の指定を受けて気仙沼、三陸、石巻地域に向け救援物資輸送を行った。震災以降は、みやぎ生協様と連携し「古紙リサイクルポイントシステム」を通じて震災孤児を支援するNPO法人JETOみやぎへ寄与活動するなど復興支援を行う。また、全国32都道府県の同業者が加盟する全国スマイルプログラム推進協議会 災害対策委員長も務め、回収車輛へのAED普及事業や、震災の経験を元に業界としての今後の防災に関する知識を広げる活動を精力的に行う。

●コーディネーター



(株)河北新報社 防災・教育室長/武田 真一氏

1981年(株)河北新報社入社。2009年4月から2012年3月まで報道部長。東日本大震災時の取材部門の責任者として、震災翌日の新聞を通常通り発行するなど地元紙としての使命を果たすことに関わった。編集局長、論説副委員長を経て2016年4月から現職。防災・教育室は震災伝承と防災啓発を専任で担当する新設部署で、巡回ワークショップ「むすび塾」の開催などを通して「いのちと地域を守る」誓いの発信を続けている。2015年4月に発足した産学官民、報道機関の連携組織「みやぎ防災・減災円卓会議」(90団体登録)の呼びかけ世話人の一人としても活動し、被災地発の教訓伝承や防災啓発の強化に取り組んでいる。

FAX送付先

FAX.022-214-8497

応募締切
3月2日
(金)

以下必要事項をご記入の上、FAXをお願いいたします。

受講希望者が下欄より多い場合は、申込用紙をコピーしてお使いください。

お名前	ご所属(企業名・団体名・部署名)	電話番号	メールアドレス	情報提供のご希望
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

*いただいた個人情報は、フォーラムの運営の目的で使用いたします。

*「情報提供のご希望の『有』」にチェックされた方には、今後仙台市から防災・減災に関するイベント情報やお知らせを送付させていただく可能性がございます。

お問い合わせ先

**仙台市まちづくり政策局
防災環境都市推進室**

■電話/022-214-8098 ■FAX/022-214-8497
■E-mail/mac001605@city.sendai.jp
■HP/http://sendai-resilience.jp/